

## 「TransAcoustic™」技術搭載ギター 第2世代モデルのラインアップ拡充

## ヤマハ トランスアコースティック™ギター

## 『TAG1 C』 『TAS1 C』 『TAG1E』 『TAS1E』

- 2026年4月28日（火）発売 -

ヤマハ株式会社は、アコースティックギター「トランスアコースティック™ギター」の新製品として、『TAG1 C』 『TAS1 C』 『TAG1E』 『TAS1E』の4モデルを4月28日（火）に発売します。



ヤマハ トランスアコースティックギター（左から）『TAG1 C SDB』 『TAS1 C NT』 『TAG1E TBL』 『TAS1E UM』

当社は2016年、デジタル技術による機能を備えながら、発音はアコースティック楽器と同じ方式で行う独自技術「TransAcoustic™」を搭載した新しいアコースティックギター「トランスアコースティックギター」を発売しました。弦などの振動を電気信号に変換してエフェクト処理を行い、その信号をギター内部に搭載した「アクチュエーター（加振器）」に伝えることでギター全体を振動させ、実音とエフェクト音が一体となった自然な響きを生み出します。2024年には、性能・機能を進化させた第2世代モデル「TAG3 C」を発売。今までにない新しい演奏体験を提供する新たなアコースティックギターとして好評を博しています。

このたび、第2世代トランスアコースティックギターの追加ラインアップとして、ハイエンドモデルのDNAを継承するミドルグレード『TAG1 C』 『TAS1 C』と、エントリーグレード『TAG1E』 『TAS1E』の計4モデルを発売します。ボディ形状や仕様の違いにより、プレイヤーの演奏スタイルやニーズに応じて選べるラインアップを提案します。

『TAG1 C』 『TAS1 C』は、ハイポジションでの演奏性を高めるカッタウェイ設計を採用し、トップにはシトカスブルース（単板）を使用しています。『TAG1 C』本体はパワフルなストロークに応えるドレッドノートスタイルで、『TAS1 C』はコンパクトなサイズ感で粒立ちの良いサウンドを生むコンサートスタイル。いずれも「リバーブ」「コーラス」「ディレイ」の3種類のエフェクトを搭載し、Bluetooth®機能によりスマートデバイスと接続して本体からオーディオ再生も可能です。

『TAG1E』 『TAS1E』は第一世代のコンセプトを受け継ぎながら、洗練されたモダンなデザインとより豊かな音量感を実現したモデルです。内蔵エフェクトは「リバーブ」「コーラス」の2種類とし、トランスアコースティックギターならではの演奏体験を手軽に楽しめる仕様としました。

品名	品番	希望小売価格	発売日
ヤマハ トランスアコースティックギター	TAG1 C NT/SDB	198,000 円 (税抜価格：180,000 円)	4月28日（火）
	TAS1 C NT/SDB	198,000 円 (税抜価格：180,000 円)	4月28日（火）
	TAG1E NT/SDB/TBL	119,900 円 (税抜価格：109,000 円)	4月28日（火）
	TAS1E NT/SDB/UM	119,900 円 (税抜価格：109,000 円)	4月28日（火）

※品番後アルファベットは、カラーを表します。NT=ナチュラル、SDB=サンドバースト、TBL=トランスルーセントブラック、UM=ウルトラマリン

■ 一般の方のお問い合わせ先：

株式会社ヤマハミュージックジャパン ギター・ドラムご相談窓口

Tel. 0120-143-808 / 050-3852-4093

## <概要>

1. ギター本体だけでエフェクトをかけられる新しい演奏体験
2. Bluetooth 接続による本体からのオーディオ再生（『TAG1 C』 『TAS1 C』）
3. アコースティックギターとしての高い音質・演奏性と洗練されたデザイン

## <主な特長>

1. ギター本体だけでエフェクトをかけられる新しい演奏体験

弦の振動を電気信号に変換してエフェクト処理し、内部の「アクチュエーター（加振器）」を介してギター全体を振動させる構造を採用しています。アンプやスピーカーを接続することなく、ギターの生音とエフェクト音が自然に融合したサウンドを生み出します。

ミドルグレードの『TAG1 C』 『TAS1 C』には、「コーラス」「リバーブ」「ディレイ」の3種類のエフェクトを搭載しました。2基のアクチュエーターを介してボディが生み出す、細部まで作り込まれた高品位なサウンドをお楽しみいただけます。また、専用アプリ「TAG Remote」により、それぞれのエフェクトのタイプの切り替えや細かなパラメータの調整も可能で、プレイスタイルに合わせた音作りを追求できます。

エントリーグレードの『TAG1E』 『TAS1E』には、1基のアクチュエーターを搭載し、「コーラス」「リバーブ」の2種類のエフェクトで、トランスアコースティックギターならではの演奏体験を手軽にお楽しみいただけます。



ボディ内部の2基のアクチュエーター



アプリを使って好みのサウンドに設定  
（『TAG1 C』 『TAS1 C』が対応）

2. Bluetooth 接続による本体からのオーディオ再生（『TAG1 C』 『TAS1 C』）

『TAG1 C』 『TAS1 C』には Bluetooth 機能を搭載しており、スマートフォンやその他オーディオデバイスと接続することで、ギター本体をスピーカー代わりにして、臨場感のあるサウンドでリスニングを楽しむこともできます。さらに、お気に入りの楽曲を再生しながら、同じギターでセッションすることもできるので、プレイヤーにこれまでにない演奏体験を提供します。

※『TAG1E』と『TAS1E』には Bluetooth 機能は搭載されていません。

3. アコースティックギターとしての高い音質・演奏性と洗練されたデザイン

『TAG1 C』はパワフルなストロークに応えるドレッドノートスタイル、『TAS1 C』はコンパクトなサイズ感で粒立ちの良いサウンドを生むコンサートスタイルを採用しています。いずれもトップにシトカスプルース単板を使用し、ハイポジションでの演奏の幅を広げるカットウェイ設計によって、豊かな音色と高い演奏性を両立しました。

『TAG1E』 『TAS1E』は、第一世代モデルのコンセプトを継承しながらも、トランスアコースティックギターに最適化した本体設計を採用することで、エフェクトと生音の一体感を向上。さらにトップにはスプルース単板を使用し、より豊かに響く音色も実現しました。

全モデル共通でサウンドホールの外周に施された美しいインレイなど、スタイリッシュなデザインも特長です。アンプと接続することでエレクトリックアコースティックギターとしても使用可能で、屋外演奏やライブステージでも活躍します。



『TAG1 C』と『TAS1 C』には、マグネット式タップで充電できるリチウムバッテリーが内蔵（最長5.5時間使用可能）



『TAG1E』と『TAS1E』は電池駆動（単三電池2本使用）



野外でも演奏を楽しめる

#### < 製品紹介動画 >

[https://youtu.be/cboL\\_MDA0bQ](https://youtu.be/cboL_MDA0bQ)

#### < 製品仕様 >

製品仕様の詳細は、製品サイトをご参照ください。

[https://jp.yamaha.com/products/musical\\_instruments/guitars\\_basses/ac\\_guitars/ta\\_2024/](https://jp.yamaha.com/products/musical_instruments/guitars_basses/ac_guitars/ta_2024/)

\* 文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

\* 掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

---

#### ■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：川本

TEL. 050-3148-8660

ウェブサイト [https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/)（取材申し込みや広報資料請求が可能です）

#### ■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン ギター・ドラムご相談窓口

TEL. 0120-143-808（固定電話向け／フリーダイヤル）

050-3852-4093（携帯、一部 IP 電話向け）

---